

主催：群馬大学 前橋工科大学 群馬県

イノベーション創出による地域の活性化

医食工連携による講演会



群馬大学、前橋工科大学及び群馬県は、住民が健康でいきいきと暮らせる社会を目指して多くの機関と連携しています。このたび、その実現に向けた活動の一環として、三者の主催による講演会を開催致します。

日 時 平成21年8月26日（水） 13:00～17:20

開催場所 前橋工科大学 1号館5階 151教室

〒371-0816 前橋市上佐鳥町460-1 TEL:027-265-0111

対 象 県民、医・食・工に関係する企業及び関係団体等関係者

参加費 講演会 無 料

交流会 1000 円

プログラム

司 会	群馬大学共同研究イノベーションセンター / 文部科学省産学官連携コーディネーター 塚田 光芳		
開催挨拶 13:00～13:15	前橋工科大学学長	江守 克彦	
	群馬大学理事・副学長	和泉 孝志	
	群馬県産業経済部長	柿沼 伸司	
第1部 基調講演 13:20～14:20	「長寿国日本のエコヘルス：少子化・美食・孤立」 NPO国際エコヘルス研究会代表 / 群馬大学名誉教授 鈴木 庄亮 氏		
第2部 講 演 14:20～17:10	「食の安全・信頼と健康増進 ～Food Faddism と食生活～」 群馬大学教育学部家政教育講座 高橋 久仁子 教授		
	「21世紀の米の可能性をもとめて ～食の研究・開発～」 群馬製粉株式会社代表取締役 山口 慶一 氏		
	「エネルギー代謝から見た甘味 / 旨味レセプターの分子進化」 前橋工科大学生物工学科 安岡 顕人 准教授		
閉会挨拶	前橋工科大学地域連携推進センター	湯沢 昭	センター長
交 流 会	17:30～18:30		

申込方法 開催日までに、下記住所又はメールアドレスにハガキ又はメールにて、住所・所属・役職・氏名・電話番号を記載し連絡ください。

住所 〒376-8515 桐生市天神町 1-5-1
群馬大学共同研究イノベーションセンター
『医食工連携による講演会係』
TEL:0277-30-1183, 1188 担当：朝日、塚田
E-mail: asahi@eng.gunma-u.ac.jp

後援：群馬県商工会議所連合会、群馬県商工会連合会、前橋商工会議所

前橋工科大学案内図



医食工連携による講演会要旨

第1部 基調講演

【13:20～14:20】

長寿国日本のエコヘルス：少子化・美食・孤立

NPO国際エコヘルス研究会代表 / 群馬大学名誉教授 鈴木 庄亮 氏

【要旨】日本は世界が羨望する長寿国ではあるが、人々は、高血圧と糖尿病、脳卒中と寝たきり、不安と自殺、花粉症などに苦しんでいる。物が豊富な成熟社会になって、美食となり、むらや会社の共同体がくずれ、孤立し、孤独な個人の暮らしが増えた。今は、安心と生活の質が求められている。

第2部 講演

講演1 題目 【14:20～15:20】Q & A(～15:25)

食の安全・信頼と健康増進 ～Food Faddismと食生活～

群馬大学教育学部家政教育講座 高橋 久仁子 教授

【要旨】食べものや栄養が健康や病気へ与える影響を過大に評価・信奉することを“Food faddism: フードファディズム”という。手っ取り早く「健康」を手に入れたい消費者。飽和状態の市場においてとにかく売りたい食の提供側。そして「食べもの」ではなく「食の情報」を売りたいマスメディア。「食」の周辺に溢れるフードファディズムの現状とその問題点について考える。

講演2 題目 【15:35～16:05】Q & A(～16:10)

21世紀の米の可能性をもとめて ～食の研究・開発～

群馬製粉株式会社代表取締役 山口 慶一 氏

【要旨】我々が普段、当たりまえのように食べているお米。群馬製粉(株)では、既成の概念にとらわれない発想で、小麦粉の100%代替として使用できる米の粉「リファリーヌ」や日本のお米100%の麺「J麺」等を開発し、お米の新たな可能性を追求している。

当社の食の研究・開発について、産学連携の取組事例を交え講演する。

講演3 題目 【16:10～17:10】Q & A(～17:15)

エネルギー代謝から見た甘味／旨味レセプターの分子進化

前橋工科大学生物工学科 安岡 顕人 准教授

【要旨】人の味覚には栄養学的な合理性を見ることができる。例えば、甘味はエネルギー源となる糖質の存在を意味し、好まれる味である。近年、哺乳類の舌に発現する味覚レセプターが同定され、味覚受容の分子機構が明らかになってきた。本講演では味覚研究の最前線を紹介するとともに、エネルギー代謝と連動した味覚レセプターの分子進化を論ずる。

平成21年7月吉日

各 位

群馬大学
前橋工科大学
群馬県

イノベーション創出による地域の活性化 医食工連携による講演会開催について(ご案内)

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、群馬大学、前橋工科大学及び群馬県は、住民が健康でいきいきと暮らせる社会を目指して多くの機関等と連携し、その実現に向けて活動を行なっています。

このたびその一環として、三者の主催による講演会を開催致します。第一部の基調講演では、公衆衛生学が専門で、1970年代に「エコヘルス」概念を日本で始めて提唱した、群馬大学医学部名誉教授の鈴木庄亮氏をお招きして、現代日本のエコヘルスの課題：少子化、美食、メンタルヘルス等について基調講演を頂きます。

第二部の講演では、我が国に「フードファディズム」の概念を導入した群馬大学教育学部の高橋久仁子教授が、巷の「食」の常識を自然科学的及び社会科学的側面から再検討します。また、地元企業の群馬製粉株式会社の山口慶一代表取締役から、食のバリアフリー化をめざした商品開発や、21世紀の食の革命と夢の商品作りについて御講演を頂き、最後に前橋工科大学生物工学科の安岡顕人准教授より、味覚研究の最前線を紹介いたします。

今回の講演会が、群馬県が進める健康科学産業の振興と地域のイノベーション創出につながることを念願しております。皆様、お誘い合わせの上、ぜひ御参加いただけますようご案内申し上げます。

■ 開催日時 平成21年8月26日(水) 13時～17時20分

■ 開催場所 前橋工科大学1号館5階 151教室

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1 電話 (代表)027-265-0111 FAX (代表) 027-265-3837

■ お問合せ先 住所 〒376-8515 桐生市天神町1-5-1

群馬大学共同研究イノベーションセンター『医食工連携による講演会係』

TEL : 0277-30-1183、1188 担当 朝日、塚田 E-mail : asahi@eng.gunma-u.ac.jp

キ リ ト リ 線

FAX 参加申込書 (0277-30-1192)

企業名・団体名等			
住所 〒	TEL		
	FAX		
所属・部署名・役職	氏名	メールアドレス	交流会参加希望(○)
		@	
		@	

※ 交流会参加いただける方は、希望欄に ○ を付けてください。会費 1,000円は、当日受付で徴収します。